

1. 交付金事業の名称            資源・エネルギー教育推進事業
2. 交付金事業の事業主体      富山県
3. 交付金事業の実施場所      富山県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

**【富山県事業】**

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・原子力・放射線の学習に関する教材の整備（桜井高校、富山工業高校、高岡南高校、砺波高校）  
放射線測定器、ドライアイス・エタノール等を整備し、原子力・放射線の学習に活用した。
- ・発電・エネルギーの学習に関する教材の整備（桜井高校、高岡南高校、砺波高校）  
燃料電池装置、クリーンエネルギー発電効率実験セット等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

**【滑川市事業】**

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・発電・エネルギーの学習に関する教材の整備  
市内の7つの小学校及び2つの中学校を対象に、電気の利用実験ボードを整備し、発電・エネルギーへの理解を深めた。

**【小矢部市事業】**

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・発電・エネルギーの学習に関する教材の整備  
市内の1中学校を対象に、簡易電解装置、手回し発電機等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費    3,853,520 円

交付金充当額        3,853,520 円

## 6. 交付金事業の成果及び評価

- ・当事業により原子力・エネルギーについて、児童・生徒の理解が促進された（深まった）と回答した割合「理解度」は、実験器具・実験材料の整備事業が目標80%に対して実績83%であった。

- ・実験器具・実験材料の整備事業を実施したことにより、教科書を用いた座学だけではなく、実際に実験などを行う体験的な学習を行う事により、放射線やエネルギーに関する興味・関心が高まり、その結果、生徒の理解が深まったと考えられる。

- ・原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として、当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標の85%に対して実績89%であった。

- ・本事業を実施したことにより、原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として実験器具・実験材料の整備事業が促進されたと評価できる。